

大阪社会保障推進協議会との協議等議事録（要旨）

東住吉区役所総務課

1 日 時 令和7年2月26日（水） 10時00分～12時00分

2 場 所 東住吉区民ホール（区役所3階）

3 団 体 名 大阪社会保障推進協議会

4 協議等の趣旨 2024年度大阪市24区キャラバン行動要望書

5 出 席 者

（団体側）

代表者 他 13人

（本 市）

東住吉区役所 15人

6 議 事

（1）介護保険について【項目1. ③、④】

団体要望概要

- ・介護認定にかかる期間はどのような状況か。
- ・昨年度の介護保険料の減免件数を教えていただきたい。前年度減免申請された方には、保険料の決定通知にチラシを同封している区もあると聞くが、東住吉区ではどうか。
- ・来年度予算案で加齢性難聴に対する補聴器の購入補助が計上されているが、介護予防の事業に参加しないと申請できない制度になっており問題がある。福祉局にも意見を伝えていただきたい。

本市説明概要

- ・行政区別の認定までの期間は示されていないが、東住吉区では概ね市の平均と同じ程度と感じている。
- ・減免件数については、令和5年度末で所得減少が98件、生活困窮者が173件、給付制限が6件、災害はなく合計277件。チラシ等は決定通知に同封し郵送で送っている。

（2）医療について【項目2】

団体要望概要

- ・5類になって以降の新型コロナウイルスによる死亡者数を、大阪市あるいは東住吉区

として把握しているのか。総合的な対策をするうえで把握が必要ではないか。

本市説明概要

- ・新型コロナウイルスによる死亡者数は5類になる前から各区では把握していない。

(3) 国民健康保険について【項目3. ③】

団体要望概要

- ・一部負担金減免制度についてどのように周知しているのか。
- ・大阪市の規模で昨年1年間に9件というのは圧倒的に少なく、東住吉区の1件についても金額が少ない。年間何件くらい医療費の相談で来られるのか。

本市説明概要

- ・窓口へのチラシ配架、医療費のお知らせや保険証に同封するビラへの記載、ホームページへの掲載など、全市統一的な広報は行っている。また、通知書等を送る際にくらしサポートのチラシを同封している。
- ・医療費の相談件数については正確な統計がないのでお答えしかねる。

(4) 特定健診について【項目4. ①】

団体要望概要

- ・特定健診の受診率は上がっているのか。
- ・後期高齢者医療制度の特定健診も「アスマイル」のポイント付与の対象になるのか。また、ポイント付与の財源は国民健康保険事業会計から出されているのか。

本市説明概要

- ・年度途中の経過であるが、受診率は若干伸びている状況。
- ・後期高齢者医療制度についてはポイント付与の対象外であり、財源については国民健康保険事業会計から出ていると認識しているが、正しくは福祉局に確認いただきたい。

(5) 生活保護受給者の健康診査について【項目4. ③】

団体要望概要

- ・大阪市の場合は自分で申請しないとイケないが、他市のように送られてきた受診票を持って医療機関に行くようなやり方にすれば受診しやすくなるのではないかと。

本市説明概要

- ・資格確認を行うために申請してもらって取扱いとなっているが、ご意見は健康局にも伝えておく。チラシ配架やケースワーカーによる勧奨もしているが、結果として数字に

表れていないので、引き続き周知方法を工夫しながら取り組んでいきたい。

(6) マイナ保険証等について【項目 3. 4 関連】

団体要望概要

- ・ マイナ保険証を返却する方が増えているが東住吉区ではどうか。
- ・ 更新の時期が来れば区役所から手続の案内が来るのか。
- ・ 膨大な費用をかけて広報されているが、市職員のマイナ保険証の取得も低い中、市民に繰り返しマイナ保険証の取得を促すことには違和感がある。
- ・ 介護保険料や国民健康保険料の減免にマイナンバーカードが必要なのか。また、ポイント付与で受診率が上がったというようなことはあるのか。

本市説明概要

- ・ マイナ保険証の利用登録解除については、受付を開始した昨年 11 月から 1 月までに国民健康保険で 27 件、後期高齢者医療制度で 25 件の申出をいただいている。
- ・ マイナ保険証ということではなく、マイナンバーカードの更新時期になる方には、誕生日の 3 か月前に更新のお知らせをお送りしている。
- ・ マイナ保険証の広報はあまり行えておらず、マイナンバーカードを持ちましょうということを、チラシ類や広報紙への掲載等で力を入れて行っている。
- ・ 減免申請の際にマイナンバーカードの持参をお願いしているが、なくても対応している。また、健診を受診してポイント付与を受けた数は把握していないが、アプリに登録されている方は増えているので、ポイントも取得されているものと思われる。

(7) 生活保護について【項目 5】

団体要望概要

- ・ コロナ以降、相談が激増しているが、相談数に見合った申請数になっているのか。どういったケースが増えているのか現状を教えてください。
- ・ 要介護の方がタクシーで区役所に手続きに来たところ、窓口で怒られたような話を聞いたので寄り添った対応をお願いしたい。このような場合には移送費は使えないのか。

本市説明概要

- ・ 令和 5 年度の全市平均の申請受理率が 40.7% に対して当区は 59.2% で 2 割程度上回っている。当区の特徴として、サービス付き高齢者住宅等の新規開設が他区に比べて多く、高齢者の申請が多いこと、また、他府県から来られた若者が、NPO 法人等に生活相談をしたのち、当区に所有する物件に入居と同時に保護申請するといったケースがここ数年多くなっているというのが現場での感覚。
- ・ 実際どのような対応をしたのかわからないが、改めて個々の事情に応じて対応するよう周知する。また、相談いただければ電話やケースワーカーが直接訪問して対応する

こともできる。移送費については医療機関の受診において嘱託医の審査で承認が出た場合に医療扶助として出るもので、区役所へ来るタクシー代については保護制度上扶助する項目がない。

(8) 保育について【項目6. ①】

団体要望概要

- ・来年度に向けての保育所の申込状況、待機者の状況はどうか。
- ・企業型保育所はこの保育所の数に入っていないが状況は把握されているのか。

本市説明概要

- ・東住吉区の募集数 558 名に対し、保育士等優先利用申込者 13 名を除く 765 名の申込となっている。昨年に比べ約 100 名の申込数が増えているが、待機児童ではなく、利用保留数という形になる。
- ・保留の内訳として、育児休業中の方、企業型保育所に入られる方、求職活動を休止された方、特定の保育所を希望される方がおられる。

(9) 民間団体が実施する生活支援について【項目7. ①】

団体要望概要

- ・大阪府のこども食費支援の第4弾が始まると聞いているが情報があれば教えてほしい。
- ・農林水産省が無償で備蓄米をこども食堂や食糧支援している団体に提供しているので、くらしサポート等で申請してもらえたらありがたい。区役所に行けば何とかかなというのが大事と思っている。
- ・市民からの食料提供を区役所で集めるといった取組はされていないのか。

本市説明概要

- ・第4弾については把握できていない。くらしサポートにもよく相談に来られるが、社会福祉協議会、環境局、大阪府とも連携して少しでもお渡しできるようにしている。
- ・農水省の情報はこども食堂を運営されている方との連絡会でも情報提供させていただき、申請をお願いする形で取り組んでいる。
- ・フードドライブは環境局が第2火曜日に区役所で受け付けている。市のホームページにも実施施設が掲載されている。

(10) 災害対策について【項目8. ①、②】

団体要望概要

- ・災害が起きたら職員もすぐには駆けつけることができず、地域で担わないといけないということで、町会に入っておられない方も含めて地域でどのようにつながっていくのか、若い人に力を貸してもらえるのか不安である。

- ・災害時に困るのは弱者、困窮者の方だと思うので、今困っている方に対して平時に大阪市ができることを考えないといけない。備蓄の数もこれでいいのかということも見直しをお願いしたいと思う。
- ・災害対策において国際基準であるスフィア基準を導入していこうと思えば発想を変えないといけない。

本市説明概要

- ・発災時には区役所職員だけではなく、近隣に住んでいる市職員も共に災害対応にあたることになるが、すぐに駆けつけることは難しいため、避難所を開設する場合には地域の方々にも協力いただきたい。地域の方々と一緒に進めていくことが、いざというときの備えにつながると考える。また、避難や物資の備蓄など自助・共助の必要性の周知啓発のほか、公助も進めていくので協力をお願いしたい。